

令和3年第2回燕市議会定例会
一般質問日程表

質 問 日		質 問 者			質 問 方 式	
					一括質問	一問一答
6月18日(金)	午前	1	長井由喜雄 議員		○	
	午後	2	小林 由明 議員		○	
		3	丸山 吉朗 議員		○	
		4	樋浦 恵美 議員		○	
21日(月)	午前	5	堀 勝重 議員		○	
		6	中山 眞二 議員		○	
	午後	7	宮路 敏裕 議員		○	
		8	埴 豊 議員		○	
		9	土田 昇 議員		○	
22日(火)	午前	10	柳川 隆 議員		○	
		11	齋藤 信行 議員	○		
	午後	12	大岩 勉 議員		○	
		13	タナカ・キン 議員		○	
		14	岡山 秀義 議員		○	

令和3年第2回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄 (一問一答方式)	1. 県央基幹病院について	(1) 県央基幹病院の進捗と地域住民が求める役割について	① 県央地域医療構想調整会議が今年1月に開かれた。調整会議には燕市からも参加しているが、現状ではどういう位置づけ、役割とされたのか伺う。 ② 「県央医療圏の領域別WG意見等を踏まえた役割分担」が示されたが、これまで住民が描いてきた救命救急センターと違う病院になるのではないかと。担う役割の変更があるとしたら、市としてこれを受け入れるのか伺う。 ③ 2018年(平成30年)3月に住民説明会が開かれて以降、その時の病院イメージを市民は持ち続けている。住民抜きの役割の変更は受け入れられないのではないかと。市としても県に対して「住民説明会」の開催を求めるべきと思うがいかがか。
		2. 柏崎刈羽原子力発電所について	(1) 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働をめぐる問題について	① 「原子力安全対策に関する研究会」が今年4月23日に開かれたが、どのような意見が出されたか。また、市長はどのような意見を出されたのか伺う。 ② 今年5月10日、30km圏内自治体の議員有志を中心に作る研究会が住民アンケートの結果を公表した。全体として「事前了解権が必要」との声が8割にのぼった。市長はこの声をどう捉えるのか伺う。
			(2) 原子力災害避難計画について	① 「原子力災害に備えた燕市避難計画」について、変更はされたか伺う。 ② UPZ(緊急防護措置を準備する区域)内に限らず、燕市民の実効性のある原子力災害避難についての「計画」作りが必要ではないのか。見解を伺う。
		3. 新生児難聴検査について	(1) 新生児難聴検査の現状と支援について	① 燕市の新生児難聴検査の現状はどうか。聴力の確保は人間の一生において重要であり、子供の成長を支援する観点からも充実が求められると考える。検査費用の助成など拡充を求めるがいかがか。
2	小林由明 (一問一答方式)	1. 交通安全対策について	(1) 市道東町11号線と周辺道路について	① かねてより交通安全対策を強く求められている東町11号線について、当該路線にはどのような課題があり、これまでどのような取り組みをおこない、どのような効果が得られたのか伺いたい。 ② 道路幅が狭く、建物擦れ擦れの通行となるにも関わらず、制限速度を上回るだろう速度で走行する車両が多く、沿線住民は日々、交通事故の不安と恐怖を感じながら生活している。ハンプ設置など物理的デバイスによる対策や、迂回のための幹線道路への誘導策など、警察や三条市にも協力をお願いし、効果的な交通安全対策を速やかに構ずるべきではないか。
		2. COVID-19対応について	(1) 接種予約について	① 「予約も問い合わせも電話が繋がらない」「ネット予約もすぐに終了する」「かかりつけ医に断られた(かかりつけ医の定義は?)」「予約補助の会場が市役所一か所だけだったのはなぜか」などなど、接種予約に係る一連の取り組みについて、市民からは多くの切実な疑問の声が寄せられているが、市にはどのような声が届いているのか伺いたい。 ② 接種予約の方法については、様々な状況を想定したうえで今般の一連の取り組みに至ったはずであるが、今般の取り組み以外にどのような取り組みが議論されていたのか伺いたい。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	小林由明(一問一答方式)	2. COVID-19対応について	(1)接種予約について	<p>③ COVID-19(新型コロナウイルス感染症)感染拡大により、社会は有事と言える状況にあり、平時の厚生行政で対応しきれない状況ではないと認識してはいるものの、接種予約に関する一連の取り組みについては、想像以上に大きな市民不安を招いていると感じている。</p> <p>今後も続くだろうこの状況において、市民と市行政とが力を合わせて歩みを進めるためにも、改めて市の考えを示し、市民からの理解を得る必要を感じている。現時点で、今般の市の一連の取り組みを振り返ったとき、どのような考えに至るのか伺いたい。</p>
			(2)ワクチン接種率について	<p>① 感染症のまん延防止や、疾病予防の観点から、高い接種率が求められるが、市は接種率の向上についてどのような課題があると考えているのか。また、接種者数の増加に伴い、どのような課題が生じ、それらに対してどのような取り組みを行うべきと考えているか伺いたい。</p> <p>② 接種日忘れや、勘違いなどで当日来場されないケースも出てくると考えられるが、個別接種でのかかりつけ医対応では、ワクチン接種日を家族と共有するなど、丁寧なフォローがなされているとも聞いている。</p> <p>接種日当日に連絡なく、来場されなかったケースについて、市はどのような対応を考えているか伺いたい。</p> <p>③ かつてHPVワクチン接種に際しては、ワクチンとの因果関係が不明な事象まで含めた否定的な情報が大きく話題とされた。このことで、接種率の深刻な低下を招き、それを必要とするはずの多くの方の接種機会が失われるという深刻な問題が起こっている。</p> <p>根強いワクチン忌避という問題への向き合い方次第では、HPVワクチンの二の舞となりかねず、公衆衛生上深刻な事態を招きかねない。多くの人を守るために接種率の向上は極めて重要な課題であるが、ワクチン忌避に対して市はどのように向き合っていくか伺いたい。</p>
		3. 産業支援について	(1)DX(デジタルトランスフォーメーション)推進について	<p>① 非対面型ビジネススタイルへの転換や、採用活動のオンライン化、テレワークの導入など、中小企業のDX推進を支援するために、市は「オンライン環境整備補助金」という制度を設けている。</p> <p>こうした支援を活用し、新規に取り組み始めた事業者には、いわゆるネット詐欺の被害に遭う事業者や、HPの開設がすなわち売上につながるという過度な期待を持っている事業者もいる。補助金を受け、新規に取り組み始めた事業者の戸惑いや、トラブルなどの状況はどのようなになっているか。</p> <p>② オンライン環境を活用しきれない事業所が少なくない状況にあって、市がオンライン環境を活用したビジネス展開を広く推し進めていくには、それを取り巻く、ごく初歩的基本的な課題から、事業者の理解や、認識を深めていく取り組みも必要ではないか。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	丸山 吉朗 (一問一答方式)	1. 分水地区における諸問題、及び開発事業計画について	(1) 国上地区における道の駅てまりの湯などの問題点と、今後のビジョンについて	<p>①「道の駅国上」(てまりの湯)は指定管理者の更新であるが、経費節減のため新しい提案はあるのか。また、新しい温泉井戸を掘る計画はないのか。</p> <p>②国上寺もいろいろな事業や、計画等を考えられ実行されているが、市の文化財でもある国上寺に対する市の考え方について伺う。</p> <p>③長辰地区、さくらを守る会等のボランティア団体にいろいろな面で応援しているが、国上山の登山道、林道等の管理についてどのように考えているか。また、最近のボランティア団体の高齢化に対して対策を考えているか。国上山の年間登山者数は把握しているか。</p> <p>④道の駅事業拡大の一つとして、酒呑童子神社近くにキャンプ場を作ったらどうか。</p> <p>⑤てまりの湯の利用料金に対し、変更等の考えはあるか。</p>
			(2) 大川津地区、五千石地区の事業について	<p>①おいらん道中、さくらマラソン等の事業は現在行われているが、桜並木の延長、桜の植樹等の計画はどうか。</p> <p>②市は通水100年記念事業としての予算と、いろいろな食品や製品等の開発を募集されているが、国、県、長岡市等と連携した計画、ビジョンはあるか。</p>
4	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 食品ロスについて	(1) 食品ロス削減推進計画について	<p>①食品ロスを減らすための「食品ロス削減推進法」が、令和元年5月24日に成立、10月1日に施行されました。法律施行に伴い、政府が策定する基本方針を踏まえ、都道府県と自治体が推進計画を策定することになっています。</p> <p>令和元年12月定例議会で、推進計画策定について質問し、当局からは「燕市としては策定したいと考えているが、政府の基本方針、新潟県版の計画と整合性を図る必要があるのではないかと考えている。当面は、国の方針や県の動きを注視してまいりたい」との答弁でしたが、その後の経過など状況について伺います。</p>
			(2) フードシェアリングサービスについて	<p>①フードシェアリングサービスとは、食品ロス削減に関する取り組みの1つで、何もしなければ廃棄されてしまう商品を、消費者のニーズとマッチングさせることで、食品ロスの発生や無駄を減らす仕組みです。フードシェアリングサービスについて、本市の考えを伺います。</p>
		2. 公共交通について	(1) スワロー号・やひこ号の運行について	<p>①スワロー号・やひこ号の運行は、地域住民の日常生活における移動手段として、大切な役割を担っています。燕・弥彦地域公共交通網形成計画に記載の利用者対象調査によると、改善してほしいサービスとして多いのは、運行本数、バス停の場所、運行時間が上位を占めています。利用者対象調査を踏まえ、見直す考えはあるのか伺います。</p> <p>②バス待ち環境について、上屋やベンチが設置されているバス停がありますが、設置されていないバス停もあります。状況によって難しい場所もあるかと考えますが、上屋やベンチの設置について伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
4	樋浦 恵美 (一問一答方式)	3. コロナ禍で困窮する女性への支援について	(1) コロナ禍で困窮する女性への支援について	<p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響で減収等、困窮状態にある女性が増え、自立した生活につながる就労支援が重要であると考えます。本市における女性の就労支援の現状と課題について伺います。</p> <p>②経済的な理由から、生理用品を購入できない女性がいる問題は「生理の貧困」と呼ばれ、コロナ禍で顕在化しました。他自治体では、防災用に備蓄していた生理用品を市役所などで配布したり、学校のトイレなどに配置し、必要とする女性に提供したりしています。生理用品の無償配布について、本市の考えを伺います。</p>
5	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 新型コロナウイルスワクチン接種受付業務について	(1) 当初の受付業務の実態について	<p>国は、新型コロナウイルスワクチン接種を行う期間を、令和3年2月17日から令和4年2月末までの予定としています。</p> <p>当市でも、4月19日月曜日より、65歳以上の方を対象にワクチン接種の予約を開始されました。</p> <p>①ワクチン接種受付業務は、業務委託で行われたようであるが、業務委託にされた経緯と委託内容について伺う。</p> <p>②受付開始後、受付業務が混乱したようであるが、その状況と対応について伺う。</p> <p>③当初一部の係等に大きな負担があったようであるが、担当職員の健康状況等について伺う。</p> <p>④今後の受付業務の方法等と体制について伺う。</p>
		2. 燕市の新たな魅力づくりについて	(1) キャンプ場の整備について	<p>市は、2017年4月1日に、「道の駅国上」の総合的な利便性の向上や、市内外からの利用者の増に繋げるため、リニューアルグランドオープンされております。</p> <p>「道の駅国上」の周辺エリアは、国上山の裾野にあり、ホテルも生息するとても自然豊かなところであり、また、キャンプ場整備に必要な環境が、すでにある程度整っていて、キャンプ場整備には最適な場所ではないかと思っています。</p> <p>昨今、キャンプが全国的なブームになっていることや、市内の企業ではアウトドア用品を製造販売している企業も少なくないことも、当局も承知のことと思います。市内のキャンプ愛好者、及びアウトドア用品の製造販売されている企業の方々から、キャンプ場整備の要望も複数届いております。</p> <p>地場産業の振興とPRも含め、当市でキャンプ場を整備することは、大変意義のあることであると思っています。また、市長も力を注がれ掲げられている、人口増戦略の一つである「交流・応援人口」の増に繋がり、交流応援人口受け入れの拠点となるのではないかと考えます。</p> <p>①国上山の裾野に広がる自然豊かな場所に、「道の駅国上」周辺にある各施設等と連携を図りながら有効活用し、新たなキャンプ場の整備を提案いたしますが、市の考えを伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
6	中山 眞二 (一問一答方式)	1. コロナ対策について	(1)クラウドファンディングで集まった資金について	①コロナ対策として集まった寄附金の収支はどうなっているか。 ②フェニックス11+の支援状況、また、利用状況はどのようになっているか。 ③コロナ対策で、クラウドファンディング型ふるさと納税を今後利用する予定はあるのか。今後はアフターコロナ支援に向かうと思うが、さらなる支援策の予定は。
			(2)飲食店支援について	①観光業、飲食店の現状について伺う。 ②一番困っている産業は、観光業と飲食店と認識しているが、飲食店とその関連産業の支援について伺う。
			(3)広報によるクーポンの配布について	①広報の配布数(印刷数)は、世帯数と一致しているか伺う。 ②一致していない場合において、余った(予備)部数の処理はどうなっているのか。 ③アパートの多い地区についての配布状況はどうなっているのか。 ④クーポンの利用状況はどのようになっているか。
		2. 地域振興について	(1)自治会のない地域について	①自治会の無い井土巻地区の認識について。 ②広報配布などの経費について。 ③側溝清掃・寄附金の募集など、町内ですべき負担はどのようになっているか。 ④基幹病院、大学ができ、アパートが増える傾向にある当地区の今後のあり方について。 ⑤住民登録をしていない人や、自治会未加入の人への対応はどのように考えているのか。
		3. 企業の立地について	(1)県央土地開発公社を経由する土地について	①県央開発公社が利用できる規定・基準について。 ②今までの実績と開発公社を経由する利点について。 ③利用できる企業への周知方法は。
7	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 新型コロナ感染から市民の命と暮らしを守る施策について	(1)新型コロナウィルスワクチン接種事業について	新型コロナ感染について、新潟県では昨年12月17日から独自の「警報」発令のなか、ワクチン接種は希望者が混乱なく受けられるよう、情報提供や体制整備が必須である。 ①集団接種会場では、車イスの方、あるいはストレッチャーで移動される方へ配慮した受入対応なのか。 ②接種を希望する在宅の寝たきり高齢者を把握し、具体的対応が家族などに伝達されるのか。 ③ワクチン接種副反応について、健康観察を経てなお、心身の異常に気づいた場合に相談が受けられる体制はどうか。 ④一回目の接種日程終了時点で予約日に行けなかった、あるいは予約をどうしたらよいか分からないままにいる方へのフォロー対応は。 ⑤市民の中には「予約を取れないこと自体が不安要素」となり、われ先にと拍車がかかり、予約のために必要以上の労力を費やす事態もあった。今後、64歳以下の接種希望者へ接種スケジュールを進めるにあたり、生かすべき教訓などどう認識しているか。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	宮路 敏裕 (一問一答方式)	1. 新型コロナウイルス感染から市民の命と暮らしを守る施策について	(2) PCR等検査の拡充について	無症状感染者の把握など、PCR等検査を拡充してこそ、ワクチン効果も上がり感染抑止につながる。 ①県が燕市、三条市と連携して、飲食店関係者を対象に無料PCR検査を実施したが現況を伺う。 ②新潟県PCR検査キット配布支援事業について、市長メッセージのなかで「準備していく」と言及されているが進捗状況について。 ③県は検査陽性全数のN501Y変異株検査を実施しているが、それ以外の変異株検査も必要ではないのか。国の責任で体制整備するよう地方自治体から求めるべきでないか。
			(3) 生活困窮に追い込まないための支援施策について	①低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付(ひとり親世帯分)の申請の状況と、どのような周知をしているのか。 ②総合支援資金貸付は、新型コロナ特例により再度の拡充、申請期限も延長されている。申請の現況と周知は十分なのかどうか。
8	埴 豊 (一問一答方式)	1. 少子高齢化の問題について	(1) 高齢化のさらなる進行について	①中心市街地における高齢化のさらなる進行状況について。 ②市街地における自治会組織の維持について。 ③防災の観点からの市街地のあり方について。
			(2) 少子化問題について	①4年前にはじめて400人台になった出生数が令和2年度では初めて450人を割り込み、439人となっている現状について。 ②子育て支援のあり方について、求められる支援と現状に乖離はないのか。 ③5年後、10年後を見据えた子育て環境整備について。
		2. 教育問題について	(1) 学力向上について	①過去のNRT(全国標準学力検査)の結果を踏まえ、燕市ではどのような指導改善を行ってきたのか。 ②特に中学生における基礎学力の充実について。 ③今年度「読解力」を高める指導とあるが、どのように取り組まれているのか。
		3. 市道路線における植栽について	(1) 市道路線における植栽について	①市内道路各所にある植え込みについて。行政と自治会の関係について。 ②設置することは簡単であるが、維持管理の問題は常に言われてきているが、どのように改善していくのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	土田昇 (一問一答方式)	1. 下水道問題について	(1) 西川流域下水と旧燕市の下水道の問題点とその対応について	<p>①平成31年5月10日に、産業建設常任委員会で西川流域下水道西川浄化センターへ視察に行ったときの資料では、平成25年から弥彦村が新たに加わっていました。2017年度の実績として吉田地区・処理人口8,495人、行政人口23,939人、普及率35.5%、分水地区・処理人口5,434人、行政人口13,788人、普及率39.4%、旧燕地区は西川流域とは違いますが、処理人口25,253人、行政人口42,364人、普及率59.6%となっています。現在どのような状況になっているか伺う。</p> <p>②そのときの資料では、2028年の目標も示されていますが、その後下水道工事も大きく変わってきています。現在の見通しと、その対応についても伺う。</p> <p>③コロナ禍で厳しい経済状況にあると思いますが、先日配布された「燕市くらしと公共交通ガイド」の68ページに、「公共下水道に接続される方に補助金制度、貸付金制度があります」と示されています。普及率向上の努力を認めますし、今後も続けてほしいが、令和元年から現在までどのような利用があったか伺う。</p> <p>④同じく69ページで、「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換しましょう」と示されています。予算として平成31年19,450,000円、令和元年の決算では19,048,000円、令和2年予算19,450,000円、今年の前算も19,450,000円、平成31年から現在までの件数について伺う。(予算は少ないと思います)</p> <p>⑤今後、市の下水道事業を考えたとき、西川流域と旧燕市が単独で処理する方向が良いのか基本的な考え方や、その方針について市長に伺う。(平成31年5月10日の視察で西川流域の下水道については、「まだ余力がある」と現場の職員は2回答弁しているのを参考にしてほしいと思います)</p>
		2. 生活保護制度について	(1) 市の実態と対応について	<p>①新聞報道によれば、コロナ禍の中で生活困窮者支援策を巡る国会の論戦をきっかけに、生活保護制度への関心が高まっていると報道されました。報道では、県によると県内今年の1月の保護新規申請件数は208件、1月までの本年度の月平均は206件で、2019年度の月平均210件よりも少なく、新型コロナウイルス感染拡大以降も例年とほぼ変化はないと報道されています。</p> <p>その一方で、収入が減収になった人が利用できる国の「緊急小口資金」などの利用者は多いとされています。コロナ禍での市の生活保護の件数と、高齢者とシングルマザーはどのような実態か伺う。</p> <p>②生活保護制度の中で、根強いマイナスイメージ表す代表例が扶養照会です。窓口となる福祉事務所が申請者の親族に援助できないかを確認する手続きで「家族や親戚に知られたくない」と申請をためらう大きな要因となっています。政府は緩和の方針を示していますが、市の実態と対処について伺う。</p> <p>③生活保護が確定した以後、行政としてどのような指導しているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 教育委員会が行う事業について	(1) Jack & Betty プロジェクトのこと	<p>①参加者は毎年小・中学生で12名となっているが、その割合は固定しているのか、変動するのか伺う。</p> <p>②今まで7回中、6回オーストラリアに行っているがその理由について伺う。</p> <p>③3月の予算審査特別委員会で、「予算概要中の記載は、令和4年度は海外に行くために検討という意味なのかどうか」伺い、当局からは「やはり海外へ行くチャンスを広げられるようにということで、令和4年度以降に何か補助する仕組みを今年度検討させていただいて、また令和4年度にお願いしたいと考えている」との答弁があった。</p> <p>予算概要にも大きく「親善大使派遣事業」と記されており、あくまで海外へということなのか伺う。</p> <p>④以前、私は総務文教常任委員会に所属しており、スピーチコンテストや、海外派遣の送り迎えの行事にも参加し、当時その派手な内容に違和感を覚え、一般質問にも取り上げたりした。子供一人、50万近くの旅費についてどう思っているのか伺う。</p>
			(2) 全天候型子ども遊戯施設整備のこと	<p>①全天候型子ども遊戯施設の県内の先進地、長岡の「てくてく」と阿賀野市の「わくわくヒルズ」以外で、同様な施設を有している自治体はあるのか伺う。</p> <p>②私の一般質問の事前調査では、現在は、基本構想の基礎資料とするため、小学校2年生以下の子供がいる保護者を対象に、全天候型子ども遊戯施設の整備に向けたアンケート調査を実施しているとのことだが、その結果についてと、その他に寄せられている声の件数について伺う。</p> <p>③先の会議で説明を受けた「全天候型子ども遊戯施設整備の検討開始について」の資料、1ページ目の冒頭の文章の中で、「第2次燕市総合計画の中間評価において、人口が想像以上に減少し、特に出生数の減少が著しい状況となっている」と記されてあるが、この原因は何であると考えているのか伺う。</p>
11	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	1. 大河津分水路について	(1) 大河津分水路工事による残土利用について	<p>①大河津分水路工事による残土利用は、燕市ではどうなのか伺います。</p> <p>②今後、大河津分水路工事による残土利用の計画があるのか伺います。</p>
			(2) 大河津分水路通水100周年事業について	<p>①2022年には大河津分水路通水100周年になるが、市ではどのような事業を予定しているのか。また、小中学校の児童、生徒への関連した授業等はあるのか、100周年事業に参加することがあるのか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
11	齋藤 信行 (一括質問 一括答 弁方式)	2. 燕市夏まつりについて	(1) 燕市夏まつりの現状と今後の方向性について	<p>① 燕市夏まつりについて、新型コロナウイルス感染症の中で今までどおりにできないと思うが、どのような方向性になるのか伺います。</p> <p>② 今年は夏まつりとしての花火は中止で、「がんばろう！ つばめ応援花火」を打ち上げるが、今後の花火はどうか協力金等の方向性を伺います。</p> <p>③ もしできましたら、2022年には大河津分水路通水100周年になるので、大河津橋でのナイヤガラ花火はどうでしょうか。</p>
		3. 小中学校の教育課題について	(1) 新型コロナウイルス感染症への対応	<p>① 新型コロナウイルス感染症により、昨年度は実施できなかった小中学校運動会が、今年度はすべての学校で実施できたと聞いた。保護者や地域の人にとっては、子供たちの頑張りや、成長した様子を見ることのできる貴重な機会であったと思う。</p> <p>一方、小学校運動会が開催された時期は、県央地域でも、新型コロナウイルス感染症の報告が続き、学校では感染症対策に力を入れて取り組んだうえで運動会開催に臨んだことと認識している。各校で実施した取り組みのうち、感染防止上、効果的だったと考えられる主な事例とその影響について伺います。</p> <p>② 5月は市内の高校、小中学校、保育園において関係者の新型コロナウイルス感染により臨時休業、休園等が相次いだ。臨時休業・休園による自宅待機期間は、子供にとって不自由な生活を強いられることもあり、ストレスが増大することがあると聞く。</p> <p>また、学校再開にあたっては、友人と会える喜びがある半面、感染する不安が膨らむ子供もいると聞く。新型コロナウイルスによる休業期間や学校再開時における子供の実態と、学校で行われている心のケアの取り組みについて伺います。</p> <p>③ 先日、体育の時間に倒れて亡くなった児童の顎にマスクがかかっていたとの報道があった。マスクの着用は、運動時などは、呼吸困難を引き起こすため着用は望ましくないと当該校では指導したと言われている。暑くてもマスクを外せない、運動時もマスクを外さない状況があったとすれば、過剰な感染への不安を抱いていたとも考えられる。</p> <p>学校では子供の感染への不安の要因をどのように捉え、その軽減のためにどんな対策を講じているのか。また、子供が場面と状況に応じ適切にマスクの着用ができるようどんな働きかけをしているのか伺います。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
11	齋藤 信行 (一括質問一括答弁方式)	3. 小中学校の教育課題について	(2) G I G A スクール構想	<p>① G I G A スクール構想による一人に1台の端末が整備され、この端末を活用する授業が本格的に始まり2カ月が過ぎた。そろそろ、新しい I C T 環境に教員も子供たちも慣れてくるころではないかと期待している。</p> <p>現在、学校の授業ではタブレット端末をどのくらいの頻度で、どんな場面で使用しているのか。市内小中学校でのタブレット端末の活用状況について伺います。</p> <p>② 新しい道具が導入されると、その使用に慣れること、使えるようになることに主眼が置かれ、いつの間にか本来の目的がないがしろにされることがある。</p> <p>「流行に踊る日本の教育」という書籍が最近話題になっている。この一人に1台の端末の G I G A スクール構想が単に流行に終わらず、未来を担うすべての子供の力を育むことに繋がってほしいと真に願う。改めて、G I G A スクール構想の本来の目的は何か。それは何をもって実現できると考えているか、教育長の所見を伺います。</p>
12	大岩 勉 (一問一答方式)	1. 小中学校における教育と問題点について	(1) 小中学校通学路の安全点検と、整備強化を進めるべきでないか	<p>① 通学路脇にカラスが(100羽以上)群れ集まり飛び回っているが、子供たちにとって危険でもあり駆除できないか伺う。</p> <p>② 鳥インフルエンザ感染リスクなどは考えられないものか伺う。</p> <p>③ 横断歩道の表示ラインや、文字が消えていて用をなしていないところが多く目立つが、点検確認されているのか伺う。</p> <p>④ 通学路でもある県道の標識の安全点検は、県警が管理点検整備するのか伺う。</p>
			(2) 倒壊の恐れのある学校設備の総点検について	<p>① 防球ネットや、国旗掲揚のポール、バスケットボールのゴールなどの点検はされているのか伺う。</p> <p>② 校舎内のスピーカーや、吊り下げているテレビの落下防止などの点検はされているのか伺う。</p>
			(3) 自転車の安全教室と挨拶運動について	<p>① 暖かくなり、子供たちが自転車に乗る機会が増えるため、交通安全対策の教室は行われているのか伺う。</p> <p>② 一日の始まりを、元気よくするための挨拶運動はされているのか伺う。</p>
			(4) 小学校脇通過時の救急車のサイレン音について	<p>① 小学校脇通過時は、状況判断しサイレン音を瞬間停止されたらどうか伺う。</p>
		2. 市民生活の安全対策について	(1) 住宅用火災報知器義務化10年点検状況について	<p>① 住宅用火災警報知器の設置が義務化されてから10年となり交換目安を迎えているが、機器の点検や交換の指導にはどのように取り組まれているのか伺う。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	タナカ・キン(一問一答方式)	1. 燕市暮らしと公共交通ガイドについて	(1) 燕市暮らしと公共交通ガイドについて	6月1日に広報6月号と一緒に配布されたものである。内容については、どの項目も市民の暮らしに大変役立つものと評価しているが、少々気になる点がある。 ①発行が燕市と(株)ゼンリンとなっているが、その理由について伺う。 ②日頃、自治会から配布物が多いと言われるが、市のほうへは声は届いていないか伺う。
		2. 燕応援フェニックスクーポン券について	(1) 配布のあり方について	燕応援フェニックスクーポン券の第3弾が広報5月号の13・14ページに掲載された。500円券が8枚で4,000円分の金券であるが、広報なので自治会を通じて各世帯に配布された。 ①自治会に入っている世帯数と入っていない世帯数を伺う。 ②入っていない世帯のうち、直接受け取りに来られた世帯数について伺う。 ③自治会に入っている世帯で、入っていなかったという理由で受け取りに来られた数について伺う。
		3. 国定公園内における規制について	(1) 国上寺本堂の壁画について	①市の文化財に指定されている国上寺本堂の壁に無許可で設置されたものである。2年経過したが、現在もそのままになっている。市の文化財調査審議会の見解について伺う。
			(2) 標識・看板等について	①国定公園内に佐渡弥彦米山国定公園と書かれている標識・看板がある。私が確認したのは2枚だが、どちらも燕市ではなく「新潟県分水町」の文字が見え、全体の文字も薄くなっている有様である。合併して15年も経過している。新設は考えられないか伺う。 ②国上寺本堂の入り口の前に「文化財を傷つけたり、落書きをしたり、絶対にしないでください。分水町教育委員会」と書かれた標識がある。2年前に指摘したがそのままになっている。これも直すべきだと思うが伺う。
4. 国上寺の花火葬について	(1) 国上寺の花火葬について	国上寺側は、打ち上げ花火の玉の中に遺骨の一部を混ぜ、打ち上げることで故人を弔うと説明している。また、デモンストレーション兼リハーサルとして、2月15日に花火(2・3・4号玉)が合計10発打ち上げられている。山の上で花火を打ち上げることも前代未聞であるが、場所が国定公園内で花火葬となればなおさらである。 ①関係各所への届けはあったのか伺う。 ②近隣住民に対しての告知はされていたのか伺う。 ③その後、花火葬は執り行われたのか伺う。 ④花火葬をやれば、遺骨(遺灰)が空中に散布され、近隣とのトラブルは必至だと思うが市の考えを伺う。 ⑤国定公園内であり観光で訪れる方も多い場所である。この様な行為に対して市はどう考えているのか伺う。		

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
13	タナカ・キン (一問一答方式)	5.道の駅「国上」について	(1)「非公募」から「公募」について	<p>これまで指定管理者の選定方法は「非公募」で決定されてきたが、今年度で指定管理期間が終了することを契機に、来年度から「公募」ということに決定した。</p> <p>①市が目標とする道の駅構想について伺う。</p>
			(2)集客の為にアイデアについて	<p>応募してくる事業者は、それぞれ良いアイデアを提案されると思うが、現状足りてない部分について提案したい。</p> <p>①食堂である。以前にも提案したが、燕の背脂ラーメンは市外・県外に広く知られている。市内の有名店に協力を依頼すべきだと思うが伺う。</p> <p>②道の駅の物販は原則地場のものが望ましい。国上山乙子神社の前に穂生(ほなり)窯を開いた陶芸家がいる作品を作っている。協力をお願いすべきと思うが伺う。</p> <p>③「酒呑童子の足湯」である。看板に「分水町長小林清書」と書かれているが、これも直すべきと思うが伺う。</p> <p>④足湯の手湯が全国で約800くらいあるという。「酒呑童子の足湯」は約40人が腰かけて入れる広さがある。この湯に真っ赤な入浴剤を投入し、血の池のような演出をすればどうだろう。酒呑童子は鬼なのである、あつという間に有名になると思うが伺う。</p>
14	岡山秀義 (一問一答方式)	1.高齢者支援について	(1)コロナ禍での高齢者生活実態について	<p>①新型コロナウイルス感染症により、高齢者の外出頻度が減少し、高齢者の生活実態を把握することが難しくなっています。若者のようにオンラインでのコミュニケーションもできず、人との交流も減っていると聞きます。</p> <p>市における健康づくり事業は、中止や規模縮小になっており、多くの高齢者が家に閉じこもりがちになっています。高齢者の現状を把握することが重要であると考えますが、コロナ禍における高齢者の方で、独居高齢者や高齢者のみ世帯の現状把握についてお伺いします。</p> <p>②既存の事業中止や規模縮小により、生活習慣が大きく変化しました。高齢者は感染を恐れて自宅に閉じこもりがちになることで、身体機能や認知機能の低下が懸念されます。このような状況だからこそ、新しい生活様式に合わせた健康づくりに資する取り組みが必要と考えます。健康づくりマイストーリー運動も含め、今後の取り組みについてお伺いします。</p>
			(2)地域コミュニティによる見守りについて	<p>①少子高齢化や核家族化が進み、人と人とのつながりの希薄化、高齢者の孤立化といった社会問題が浮き彫りになっています。また、コロナ禍やさまざまな社会環境の変化に伴い、住民ニーズがますます多様化しています。</p> <p>高齢者世帯だけではできない防災、防犯、その他必要な支援等の課題について、地域コミュニティ組織での取り組みが重要であり、コロナ禍で困っている高齢者への支援がより一層必要であると考えますが、市の見解をお伺いします。</p> <p>②高齢者を守るために地域住民が、声をかけ合い、支え合い、助け合える関係を築くためにも、地域での支え合い活動を燕市全体でより一層の取り組みと、啓発が必要と考えますが、市の見解をお伺いします。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	発 言 す る 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
14	岡山 秀義 (一問一 答方式)	2. 市民の安 全対策に ついて	(1) 通学路等 の安全対策 について	<p>① 登下校中の何の落ち度もない児童・生徒が車にはねられて尊い命を落とすという痛ましい事故が絶えず報道されています。子供の命を守るための安全対策は、何より優先すべきであります。</p> <p>未利用地の除草・草刈り、樹木の剪定・伐採により通学路の見通しを確保することが安全・安心につながっていきます。通学路における環境改善に対する市の見解をお伺いします。</p> <p>② 市内全域でカーブミラーの老朽化が進んでいます。近年の異常気象により日々折損の危険があります。また、黄砂などにより、ミラーとして機能していないカーブミラーも多いのが現状です。人の命を守るカーブミラーが管理されてなければ、人の命をも奪う凶器となりかねません。市はどのように安全管理されているのかお伺いします。</p> <p>③ 通学路に限らず道路維持管理の一環として、ボランティア活動する自治会等には、除草剤・草刈り機の燃料・カーブミラー安全管理に必要なものを支給することがあってもよいのではないかと考えますが、市の見解をお伺いします。</p>
			(2) 防犯カメラ について	<p>① 防犯カメラの映像が決め手となる犯人逮捕の報道をよく聞きます。市では、防犯カメラ設置補助金として毎年防犯カメラが増設されています。犯罪抑止効果もあり子供を犯罪から守る効果が期待されます。しかし、児童・学生の保護者が利用している連絡網「マチコミメール」に不審者情報が年数回通知されても、犯人特定までは至っていないのが現実です。市内小中学校の通学路を中心に、防犯カメラの設置促進を図るべきと考えますが、市の見解をお伺いします。</p>